

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【公開番号】特開2013-215399(P2013-215399A)

【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-058

【出願番号】特願2012-88588(P2012-88588)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月1日(2015.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

帯状に成形されたレール部材の長手方向で一方側の端縁に、前記レール部材の前記端縁を挟み込むように二つ折りにされたピン部材を取り付ける一方、遊技盤を前後方向で貫通するようにピン孔を穿設しており、前記ピン部材を前記遊技盤の前面側から前記ピン孔へ差し込むことによって、前記遊技盤の前面に対して所定の取付角度で起立した姿勢で前記レール部材を配設し、該レール部材によって囲まれた領域を遊技球が流下可能な遊技領域としたパチンコ機であって、

前記ピン部材の先端部と基端部との間に、前記先端部よりも幅広な保持部を形成する一方、

前記遊技盤に薄肉部を形成し、前記薄肉部に前記ピン孔を穿設しており、

前記先端部を前記遊技盤から後方へ突出させるとともに、前記保持部を前記ピン孔内に位置させた状態で前記レール部材を配設したことを特徴とするパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するために、本発明のうち請求項 1 に記載の発明は、帯状に成形されたレール部材の長手方向で一方側の端縁に、前記レール部材の前記端縁を挟み込むように二つ折りにされたピン部材を取り付ける一方、遊技盤を前後方向で貫通するようにピン孔を穿設しており、前記ピン部材を前記遊技盤の前面側から前記ピン孔へ差し込むことによって、前記遊技盤の前面に対して所定の取付角度で起立した姿勢で前記レール部材を配設し、該レール部材によって囲まれた領域を遊技球が流下可能な遊技領域としたパチンコ機であって、前記ピン部材の先端部と基端部との間に、前記先端部よりも幅広な保持部を形成する一方、前記遊技盤に薄肉部を形成し、前記薄肉部に前記ピン孔を穿設しており、前記先端部を前記遊技盤から後方へ突出させるとともに、前記保持部を前記ピン孔内に位置させた状態で前記レール部材を配設したことを特徴とする。

なお、上記発明において、前記レール部材として外レールと内レールとの 2 つのレール

を配設しており、前記外レールと前記内レールとの間の領域を、前記遊技領域へ遊技球を打ち込むための発射通路としたパチンコ機であって、少なくとも前記外レールに取り付ける前記ピン部材に保持部を形成するとともに、前記外レールの前記ピン部材が差し込まれる前記ピン孔を前記薄肉部に穿設するという構成を採用することも考えられる。そして、そのような構成を採用すると、外レールを配設するためのピン孔を薄肉部に穿設しているため、より取付角度の精度を求められる外レールを精度良く配設することができるし、外レールの取付箇所にもみ薄肉部を設ける等の加工を施せばよく、製造コストの低減等をも図ることができるという効果がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、遊技盤に薄肉部を形成するとともに、薄肉部にピン孔を穿設しており、ピン部材の先端部を遊技盤から後方へ突出させた状態でレール部材を配設している。したがって、ピン部材をピン孔へ差し込む際、二つ折りにされたピン部材の先端部のうちの一方の先端部が他方の先端部よりも差し込み方向でずれそうになるものの、ピン孔の穿設箇所が薄肉となっているため、ずれないまま若しくは従来よりもずれが小さい状態において、先端部が遊技盤よりも後方へ突出する。そのため、差し込み時におけるピン部材の歪みを従来よりも抑制することができ、ひいてはレール部材を精度の良い取付角度で配設することができる。

また、ピン部材の先端部と基端部との間に、先端部よりも幅広な保持部を形成し、保持部をピン孔内に位置させた状態でレール部材を配設している。したがって、ピン部材の先端部が遊技盤から後方へ突出することで、レール部材の配設時におけるピン部材と遊技盤との接触面積は少なくなっているものの、保持部によってピン部材の差し込み状態を強固に保持することができ、レール部材を確実に固定することができる。